

# 持続可能な地域交通を考える会 2009年 2月（2008年度 第10回）定例会資料

## ◆ 議題

---

- 中原区市民提案型事業への企画応募について
- 「神奈川県営住宅野川団地跡地の緑地化」への取り組みについて
- 「MAKE the RULE」と「エコ・フェスタかわさき」について
- 「川崎市バス事業ステージアッププラン」パブリックコメント対応
- 来年度事業案の検討・採択
- 会計・会費・役員と川崎市市民公益活動助成金について
- 「高津区市民活動支援ルーム」利用者会議（報告）
- 定例会開催日について
- メールマガジンお休みのお詫びと原稿提供のお願い
- 次回定例会のお知らせ

## ◆ 中原区市民提案型事業への企画応募について

---

別添書類を参照。以前より連絡を取り合ってきた事業提案がまとまった。会として取り組みたく、ご承認をお願いしたい。

なお、会計を完全に独立させる事などから、実施体制としては、会本体ではなく部会として実施することを検討している。会計・運営などで担当者が裁量を持ち、定例会などで実施状況を報告する（会計は所定の報告書に取りまとめる）形にしたい、あわせてご検討いただきたい。

## ◆ 「神奈川県営住宅野川団地跡地の緑地化」への取り組みについて

---

別添資料を参照。当会としてどんな取り組み方ができるか検討したい。

## ◆ 「MAKE the RULE」と「エコ・フェスタかわさき」について

---

### 「MAKE the RULE 川崎」（仮称）連絡体制と請願について

「MAKE the RULE 川崎」（仮称）推進体制の整備に取り組んでいるが、まずは1月よりメーリングリスト(ML)をたちあげ、川崎市内の参加・賛同3団体（昨年末時点）や個人有志にご参加いただくとともに、MAKE the RULE キャンペーン事務局や神奈川県の実行委員団体も加えての情報交流・相互連絡体制が整いつつある。これを連携の場として育てたい。

また、MAKE the RULE に関して川崎市議会への請願提出にも着手しており（別添書類を参照）、これに会として取り組みたい。

ただし、MAKE the RULE キャンペーンについては、分かりにくさなどをご指摘いただいている。今後は、キャンペーン事務局から講師を招いてのMAKE the RULE 勉強会なども企画・実施してゆき、相互理解を深めてゆきたい。

### 「エコ・フェスタかわさき2009」出展について

開催概要は別紙チラシを参照。環境問題、とりわけ市内で地球温暖化対策に関心の高い人が集まるイベントになると思われ、連携の絶好の機会になると期待される。そこで、当会では、恒例の交通アンケートや「クルマと環境」などのチラシ配布、および「MAKE the RULE」に関する展示を中心に展開し、もともと環境分野に関心の高い皆さんに、交通分野への関心を高めていただけるような出展ができれば効果的と思われる。

なお、展示形態は11月の「かわさきボランティア・市民活動フェア」と似ているようだ。今回も「川崎の交通とまちづくりを考える会」さんより共同出展のお誘いをいただいております、当会としてもぜひ一緒にできればと考えている。

## ◆ 「川崎市バス事業ステージアッププラン」パブリックコメント対応

---

昨年7月に意見書提出するなど当会でも取り組んだ「川崎市バス事業経営問題検討会」での答申を受け、交通局より「川崎市バス事業次期経営健全化計画(素案)」が発表された(別添資料あり)。当会から提出した意見書に対する反応は、概ね次のようになっている。

1. 市を挙げて公共交通の利用をすすめる必要性を改めて確認すること。  
→不採用。答申に盛り込まれた「早急に総合交通政策を策定すること」の求めに対する回答も無し。都市計画課に問い合わせるべきか？
2. 川崎市においてモビリティ・マネジメントを推進し、その中で路線バスの利用促進を位置づけること。  
→不採用。ただし「交通管理者等と協議し、走行環境改善の要望を行うとともに、ダイヤ改正による定時性の確保に努め」とは謳われた。
3. 他の公共交通機関との連携をすすめること。  
→不採用。
4. 経営情報の開示を推進し、将来収支見込みは最新の情報を踏まえて再検討すること。
  1. 検証可能な「エコドライブ」の実施やCNGバスの導入拡大  
→「ドライブレコーダーの計画的導入」が明記された(具体的数値は無し)。「エコドライブ」については「改正省エネ法に基づきエネルギー消費原単位(軽油使用量÷走行キロ)を平成18年度実績から平成23年度末までに5%削減(毎年度1%)」とされたが実施体制については言及無し。ほか、「ハイブリッドバスを～平成25年度までに目標として30両の導入」する、「平成21年度にバイオディーゼル燃料を試験的に導入」するなど。
  2. 燃料費上昇に伴う乗車人員増加の算入  
→不採用。状況変化が謳われている。
  3. 詳細な情報開示  
→「外部有識者で構成する(仮称)経営アドバイザリー・ボードの設置」が謳われる。
5. 市の政策と連携し、「市バス」としての意義を発揮すること。  
(市を挙げて「マイカー」からバスへの乗り換えを促す広報活動等を展開すること)  
→「区役所などへのダイヤ改正等の情報提供を積極的に行」う、「生活路線を維持」する、「コミュニティ交通に～バス事業者としての協力を行」う、とされた。
6. 交通局が自ら環境広告・イメージ広告を打ち、公共交通の利用を呼びかけること。  
→不採用。サービス改善策としては「1時間に3回の運行を確保」「パターンダイヤ」などが謳われている。

意見書提出締切が3月3日(火)、それまでに連絡を取り合いながら会としての意見を取りまとめて提出したい。

## ◆ 来年度事業案の検討・採択

---

詳細は別紙を参照。

### <単独事業>

- 定例会・勉強会
- 情報発信(ホームページ、メールマガジン、会報の発行)◇
- 会の活動を取りまとめた年次報告書を発行
- 翻訳出版
- 各種意見表明、提案、パブコメ対応など(継続)

### <連携事業>

- カーフリーデー、市民活動フェアなどへの出展(継続)
- アンケート調査◇
- MAKE the RULE、世界道路交通犠牲者の日などの普及活動(継続)

- 「フードマイルス低減化」

#### <調査事業>

- 安全・快適な自転車利用環境に関する調査
- バスの利便性向上に関する取り組み
- 徒歩、自転車、路線バス、電車の連絡・連携に関する調査
- ヒートアイランド・緑地と交通に関する調査

#### <受託事業>

- 持続可能な地域交通活用マップ事業（中原区市民提案型協働事業）◇

### ◆ 会計・会費・役員と川崎市市民公益活動助成金について

---

#### 金融機関口座開設について（報告）

会名義で下記の口座を開設した。

- 川崎信用金庫 高津支店(004) 普通 1083494 「持続可能な地域交通を考える会」（代表名義）
- 郵便振替 00290-2-139934 「持続可能な地域交通を考える会」（〇二九店(029) 当座 0139934)

#### 役員・会運営体制について

別紙のとおりとしたい。

#### 会計・監査についての基本的な考え方

- 来年度から予算・決算（会計報告）を実施したい。（2008年度の会計報告は5月定例会（総会）で行えるよう準備する。）
- 特段の資産がないことと、会計事務負担軽減のため、当面は収支報告書のみでの報告としたい。
- 人手不足により運営と会計の分離が困難な状況にあるが、監査を置くことで信頼性を担保したい。なお、希望される会員には現金出納簿(Excel)も開示する。
- 会運営と事業はあくまで分離した方がいいのか、または一緒の方がいいのかを検討したい。

#### 会費の考え方

- 定例会資料、インターネット、名刺、会のチラシのように普段から使うものは会費で賄いたい。
- 上記以外（イベント出展、勉強会会場・講師費用、企画事業の費用、支払い資料代、会を代表して参加する会合の交通費など）は、会費だけでは難しく、助成金等で賄うことも検討したい（さらに不足する分は寄付金品：事実上は担当者の持ち出しとなるかも）。

#### 川崎市市民公益活動助成金（スタートアップ）申請について

申請書類の締切が3月13日(金) 必着、提出方法は持参または郵送。

最終日の直接持ち込みは難しいため、別添書類（叩き台）を参照しつつ本日中に申請の是非を決定し、申請する場合は随時連絡を取りながら次回定例会を待たずに書類を調べて提出したい。

### ◆ 「高津区市民活動支援ルーム」利用者会議（報告）

---

2月6日に開催された同会議に参加してきた。

定例会会場や印刷機など、これまで多くお世話になっているが、運営体制が実費弁償すらないボランティア、しかも運営委員に参加する人が減っているという。運営側からは特に参加してほしいとの呼びかけがあった。そこで、個人的に、負担が大きい予約受付などの実務は全利用団体が分担すべきと提案してきた。他からは登録料・利用料を取れといった提案も出ていた。

日頃よりお世話になっている当会としても、今後はなるべく運営にも参加する方向で検討したいが、担当者一人では難しい。そこで、まずは会としての係わり方を考えておきたい。

なお、来年度の利用登録（更新）書類を今月中に提出する必要がある。来年度の利用条件には特に変更はない。

## ◆ 定例会開催日について

---

支援ルームの利用者（団体）増加に伴い、他団体と競合し、会議室の確保が難しくなりつつある（特に土曜日、その理由で次回も木曜日開催になった）。この状況が続くなら今後は木曜日も取れなくなるおそれもあることから、従来の変則的な開催を改め、今後は同じ曜日（毎月第二木曜日の夜）に固定することで、他団体との競合を避けることを検討したい。

ただし、平日夜間に参加しづらい方もおられるため、今後はたとえば勉強会を土休日の日中に開催する方法で、引き続きなるべく多くの方にご参加いただきやすいよう工夫したい。

## ◆ メールマガジンお休みのお詫びと原稿提供のお願い

---

メールマガジン 2月号は、担当者多忙につきお休みせざるを得ない状況になりました。申し訳ありません。

現在、環境・交通分野に携わられている方々や行政、報道など、50名ほどの皆さんにお届けし、さらにホームページにも掲載されるので、多くの皆さんにご覧いただいておりますが、そのメールマガジン編集でも難航するのは原稿の用意です。

今後も継続的に、より多彩な記事を多くの皆さんにご紹介するためにも、執筆者はなるべく固定化させず、皆さんに少しずつご提供いただく体制づくりをしたいと思います。また、今後は会報発行なども検討しており、原稿はメルマガや会報など各所で活用してゆきます。下記の要領で記事を募集します。ぜひご協力ください！

- 毎月末日締切。メール本文に直接記入、テキストファイル、またはFAXでお送りください。
- 掲載記事は毎月1-2本を目安とし、掲載時期は編集側で判断します（特定の時期に掲載したい場合はお早めにご相談ください）。
- 内容は、環境・交通分野に関係するものか、地域に根差したものでお願いします。書評、旅行記、川柳、イベント参加報告などでも結構です。必ず題を付けてください。
- イベント等の予告記事については別枠で受け付けます。営利や宗教勧誘等でないこと、近隣であること、会場までの公共交通の案内が明記されていることが掲載条件です。また料金やホームページURLなども書き添えてください。
- 記事には執筆担当者（情報提供者）名を掲載します。ペンネームでの掲載を希望される方はお書き添えください。
- 字数制限は特に設けませんが、短いぶんには差し支えありません。長い記事は分割して複数回に分けて配信する場合があります。編集時、1行あたり36桁で改行を入れます。改行・分割位置の指定などありましたらご指示ください。
- 配信後の訂正・削除等はできません（ホームページ掲載分を含む）。必要な場合は次号に訂正記事を載せてください。

## ◆ 次回定例会のお知らせ

---

次回定例会は、**3月12日(木) 18:30～** 高津区役所4階「市民活動支援ルーム」（同じ場所）で開催します。各種報告（川崎市バス事業次期経営健全化計画（素案）「川崎市バス事業ステージアッププラン」パブリックコメント対応、川崎市市民活動助成金申請など）、および来年度事業の進め方について検討します。次回もご参加ください。